

# 製本のススメ

Vol. 125

暑さ寒さも彼岸までと申します。この頃はめっきり秋の気配ですね。三週間ほど前まで、汗だくだったのに最近は長袖のシャツです。こうなると、温泉が恋しいですね。

今回は**勘違いしやすい紙目**の話し

実際に印刷機械や加工の機械を使う人には当たり前のことですが、最近ではネット発注なども増え基本的な知識の少ない方々が作業につくことも多くなってきたので、うかつに縦目横目といえなくなりました。

そもそも紙目とは 紙漉工程で細かい網に材料をすくいあげて広げる際に、網目に沿って繊維が並びやすく、これが紙目の大元です。その後出来上がった紙は裁断され この作業でT目(縦目)Y目(横目)と切り分けられます。

基本的に**短辺方向**に紙目が流れているものを**Y目****長辺方向**に流れているものを**T目**としています。紙が横長に置いてあるから横目じゃありません。



さて 紙を注文する 或いは電話で打ち合わせをする際に、勘違いし易いのも この紙目です。例えばA3で4頁分(2つ折り、A4 仕上がり)のチラシを印刷する場合は紙の注文は『A3 横目』となります。すると二つ折りして出来上がったチラシはA4縦目になっているわけです。

紙目通りなら順目 紙目に逆らっている場合は逆目と呼び分けますが、この紙目は加工する際に、**極めて重要な要素**です。順目ならば、折り易く ミシンの切れ味も良くその他の加工も順調でトラブルはありません。しかし逆目になると 紙の波打ちも大きく しわも出やすく 本も反ってしまい 上製本に関しては**加工できない事も起こります** たかが紙一枚 されど紙一枚ですね。

今回はお話が長くなってしまいましたので🍵は次回にいたします。すみません m(\_)\_m